



往生山だより

150人を招いての授業公開

10月16日(火)市内の教職員を招いての図画工作科の授業公開が行われました。

「往生山だより」でも以前にお伝えしましたが、当日公開した授業は、

☆ 2年生「しんぶんしとなかよし」

☆ 3年生「クミクミックス」

☆ 5年生「カードを使って」

の3つ。

2年生は、新聞紙を使って様々な形を思い思いにつくる「造形遊び」を、3年生も同じく段ボールを組み合わせて、とにかく大きくて頑丈で高い立体をつくり、5年生は高学年らしく、様々なアートカードの特徴を自分なりに見つけ出し伝え合う「鑑賞」の授業を行いました。

児童よりも遙かに多い参観者を前に、授業者も子ども達も緊張を隠せませんでした。それでも時間がたつにつれ、会場にリラックスムードも漂いはじめまして、いつも通りの授業となり、子ども達も大好きな図画工作科の授業を大いに満喫しました。

昨年度から指定を受けて足かけ2年。本日まで授業者はもちろん、他のスタッフも研修主任を中心に一丸となって準備を進めてきました。日々の授業はもちろん、毎週金曜日の朝に実施してきたアートタイムなど、図画工作科の学習に積極的に携わる中で、本校の児童の実態や特徴を客観的に捉え、一人一人に合ったきめ細やかな指導を行い、児童の願いを叶えてきました。

研修を継続する中で、子ども達から「図工の授業が待ち遠しい」という声が多く聴かれるようになったことは、何よりの成果だと自負しています。また、図画工作科は、授業の準備物や活動場所の確保などに時間を要し、教員泣かせの教科なのですが、準備すればした分だけ、子ども達の楽しい笑顔や歓声につながることを改めて実感しました。

本校の研究はまだまだ続きます。道具や材料など、ご家庭に協力をお願いすることもあるかと思いますが、お世話になります。

なお、授業の後の事後研究会では、多くの参観者から、お褒めの言葉をいただきました。

※ 当日は会長・副会長様にもお手伝いいただきました。



<そーれ、引っ張れ〜>



<これどうなってるんだ?>



<ぼくはこの部分が・・・>